

桐生市  
まちづくりミーティング資料

2022年7月26日

メリーのいえ

# テーマ：つながり・支えあえる 子育て環境づくり

- ▶ 子育てをしている親が悩んだ時に「孤立せず」  
同じように悩んでいる人や、見守ってくれる人と  
「心地よい距離感（安心・安全）」で繋がりあえる。
- ▶ つながりあうとは  
子育てに正解はなく、それぞれが  
「自分や子どもにとっての良い塩梅」を考え、選択  
していくことが大切。  
それをお互いにジャッジせず認め合える。支えあい。

# 「メリーのいえ」について

はじめは、ひとりの母親が感じた

「こんな場所（つながり）が身近にあったら良いのになあ…」だった。



# 代表プロフィール

- ▶ 小川純恵
- ▶ 太田市出身。理学療法士。NPプログラムファシリテーター
- ▶ 桐生市の「両毛整肢療護園」に10年間勤務。障害のある子どもたちのリハビリを行う。
- ▶ 現在はフリーランスで、認定こども園や民間の子育て支援団体にて「赤ちゃんの発達講座」や「発達相談」を行う。
- ▶ 現在通信制高校に通う姉妹の母
- ▶ 長女（高3）発達障害グレーゾーン。HSP傾向。中2で心因性疼痛を発症。不登校や引きこもりを経験
- ▶ 次女（高1）小2の時にアスペルガー症候群と診断。



# メリーのいえ設立の経緯

- ▶ 2014年、次女（当時小2）がアスペルガー症候群と診断される。  
「同じような境遇で子育てを頑張っている誰かに会ってみたい」  
「一緒に発達障害の子の子育てならではの話をしたい」  
そのことで前向きに楽しく子育てをしていきたい
- ▶ 「愚痴を吐き出す場」ではなく「お互いの体験や思いをジャッジせず語り合い、つながれる場」を作りたい。
- ▶ 2015年、桐生市を通じてNPプログラムファシリテーターの資格を取得
- ▶ 2016年1月～NPプログラムの要素を取り入れた座談会としてスタートする。

# メリーのいえ活動内容①

## 自由な交流の場

- ▶ 「メリーのへや」
- ▶ フリートークの場
- ▶ 対面形式とオンライン形式で開催
- ▶ どなたでも気軽に参加できる



# メリーのいえ活動内容②

## テーマを決めた座談会や研修会

- ▶ 「〇〇のママの座談会」など
- ▶ 共通の関心事のある人同士のつながりができる。



# メリーのいえ活動内容③ ワークショップ

- ▶ 物づくり、お灸、山歩きなど夢中になれる趣味的な活動を行う。
- ▶ 会話が苦手でも活動を通じてつながりができる。
- ▶ リフレッシュやストレス解消に役立つ。





## メリーのいえ活動内容④ イロドリくらぶ

- ▶ 学校生活になじめない子どもとその家族のための「親子参加型フリースペース」
- ▶ 参加者にとって安心な空間であることに配慮する。
- ▶ 子どもたちは家以外の場所でくつろいで過ごすことができ、親は交流の場として利用してもらう。



# 2022年の新たな取り組み

- ▶ 「子育てメンター」制度の導入
- ▶ 10～30名規模の講演会「子そだてお話し会」の開催  
(1/26と5/21)



# 参加者について

- ▶ 2022年6月末で、のべ800名近い方が参加している
- ▶ その9割くらいは、  
子どもの発達に関する悩み（発達障害・グレーゾーン  
・HSCなど）  
集団生活になじめない、登校（登園）しぶりや不登校

※代表のプロフィールから共感した参加者

# メリーのいえから見た子育て支援の課題

- ▶ 悩みのある人の孤立

(誰に相談してよいのかわからない、話せない)

- ▶ 不安

(このままでこれからどうなっていくのか？将来は？)

～これらの悪循環に陥っている～

- ▶ 思考も、親子・夫婦など人間関係も凝り固まっている

- ▶ そのため、落ち着いた柔軟な判断がされにくい

～2次的な障害や問題の発生～

## 第3の居場所としての役割

- ▶ 家族でも身近な友人でもない「第3の場所」
- ▶ 参加者の安心・安全な場所
- ▶ 落ち着いて自分自身を振り返ることができる
- ▶ わが子のことを客観的に知る手掛かりが見つかる
- ▶ 同じように試行錯誤する「仲間」のようなつながりを得られる

# 子育てメンターの活動・役割

- ▶ 自らも子育てを通じて、さまざまな悩みや試行錯誤を経験している。
- ▶ 自らの体験を参加者に語り、参加者の話に耳を傾け、寄り添う。
- ▶ 参加者と同じ目線、同じ一人の親としてかかわる。
  
- ▶ 自らの試行錯誤してきた経験が、参加者の助けや力になる体験をすることで、自らも自身や活力を得ることができる。

# 未来の子育て環境に向けて

- ▶ 「どんな家庭に生まれた、どんな特性のある子どもも、のびのびと輝いて成長していけるように」
- ▶ 孤立せず、程よい距離感でつながり続けられる子育て支援
- ▶ 親同士の支えあえる場を広げる（公共の場・学校）
- ▶ 子どもも含めた居場所づくり